

特別非営利活動法人

「アニー基金」プロジェクトとは・・・

日本国憲法の児童福祉法は0歳～18歳までが、この子ども達の生活と就学を援助することになっています。大学に行く場合は20歳までです。しかし、18歳を過ぎてしまうと原則的に全ての援助措置は打ち切られます。

せめて、「全ての子ども達に20歳までの措置の延長を」と多くの関係者や団体が願っています。そこで 困難な状況に陥った子どもをみかねた私達が『子ども達の人生の可能性を少しでも広げたい』という思いを込めて、「アニー基金」を立ち上げました。

このアニー基金は皆様の会費と各種事業(バザー、後援会等)の収益、団体及び助成団体からの支援金で成り立っています。1口で2,000円の会費です。大口の寄付でなくても、「細く長く子ども達につながってくれる理解者・支援者に集まってほしい」と願っています。

会費	年間2,000円
振込銀行	ゆうちょ銀行
口座番号	00100-0-41587
口座名	NPO「アニー基金」プロジェクト (お振込み手数料は当方が負担します)



NPO 法人 子どもの教育・生活支援
アニー基金プロジェクト
代表 日高 真智子
〒270-0101
千葉県流山市東深井 392-13
TEL & FAX 04-7154-0649

【運営要綱】

第1条(目的)

本要綱は、特別非営利活動法人「アニー基金」プロジェクト定款第2章第3条に基づき「アニー基金」の貸出し等の手続きを定めるものです。

第2条(貸付対象者及び費用)

- (1) 児童養護施設卒園予定者及び卒園者と里子経験者。
- (2) 医科歯科治療費の実費負担額(入院費用等を含む)。
1 疾病につき本人負担額3万円を超える場合に限りです。
- (3) 自活のために免許取得のための費用、アパート代。
- (4) 進学のために必要な入学金や授業料(30万以内)
- (5) 自立達成のために必要な運転免許等の資格取得に要する費用

第3条(貸付条件)

「アニー基金」の貸付条件は次の通りです

- (1) 貸付限度額・・・原則として1人1回につき30万円以内
- (2) 貸付期間・・・貸付金額により、1年～5年以内。
- (3) 利息・・・無利息とします。
(注) 期限後の返済は遅延損害金を別に定める。
- (4) 保証人・・・支払いを確実に後押ししてくれる人。
(連帯保証人は必要としない。)

(5) 返済条件・・・

- ① 本人と協議して柔軟に定める。
- ② 支払い期限後に一括返済を原則とする。
(本人の生活状況を考慮し相談に応じる)



第4条(貸付手続き)

「アニー基金」の貸付を受けようとする者は次に従って申請する

- (1) 申請者の養育家庭制度上の里親または里親であった人、児童養護施設の施設長または、本人の親族(以下、推薦者とする)は、申請者の該当欄に推薦理由を記入し、署名(自署)・押印して申請する。
- (2) 「アニー基金」プロジェクト運営委員会は、貸付の可否を審査し決定する
 - ① 基金への申し込み(電話または書面)
 - ② 本人と運営委員の面接、相談、協議
 - ③ 申請書類の記入(印鑑が必要です)
 - ④ 運営委員会の審査
 - ⑤ 文書にて結果のお知らせ

A. 審査が通った人

- a. 契約書作成
- b. 返済計画書の作成
- c. 資金の振込み
- d. 領収書コピーの提出(郵送可)

B. 審査が通らなかった人

- a. 希望により、他の方法の相談と紹介
- b. 国または県その他の機関からの補助金等の紹介、申請手続き代行

以上の手続きにより、速やかに支援・救済の措置をとります。

メールアドレス: annykikin@tbn.t-com.ne.jp
ホームページ: http://www.npo.lsnnet.ne.jp/annykikin/
— 流山市民活動団体公益事業補助金により作成 —



いじわるなごときも、みんなでいっしょに

— 実親と共に暮らせない子ども達の為に —

特定非営利活動法人

子どもの教育・生活支援

「アニー基金」プロジェクト



今できることを、みんなで一つずつ

◆活動を通して伝えたいこと

最近虐待する親と一緒に住んでいるより、離れた方が子どもにとって幸せだと言われます。確かにそうですが、親と離れた子どもがその後どうなるのか、養護施設の実態を知っている方は少ないです。施設では衣食住は保障されますが、18才過ぎてからの「心のケア」までは十分ではありません。「アニー基金」の活動を通して、施設の子も達や里子にも目を向けてほしいと願います。

看護師を目標に進学するため、入学金と授業料を借りました。奨学金ももらいました。



自立費用としてアパート代25万円を借りました。がんばって返済中!



老人介護資格を取得するため10万円を借りましたが、18才に完済! 仕事で介護をおっつやっています。



就職が決まったので、運転免許をとるために借りました。



◆募金のお願い

将来的にはどの都道府県でもこの貸付制度はあるべきだと思います。進学する際の補助金なども、自治体によって子どもへの対応がまちまちで不公平です。沢山の子に貸したいけれど資金がなければできません。また、1口で2,000円の会費は大口の寄付でなくても、細く長くつながってくれる理解者・支援者に集まってほしいと願っています。さらに年4回のプロジェクト通信も送らせていただきます

保育料の入学金と授業料を借りました。今返済中です!



大病、怪我などで緊急に医療費がかった時に費用をたてかえてもらいました。



T・Nさん
小山ホームに在籍 / 看護専門学校に進学
45万円の貸出でした。

T・T君
市原学園卒業、
20歳で仕事のため
アパートをみつけた。

Y・Aさん
香取学園。17歳で老人介護資格を取得するため10万円を借りました。

K・K君
富浦学園在籍後、
機械の修理メンテナンスをある会社に就職希望。

M・Kさん
野の花の家在籍。
幼稚園教諭を取得。
2年間で60万借
いて、現在返済中。

K.Y.君
里子19歳
保証人が必要な
きに手続き代行も
してもらいました。